

# BIZ REPORT+

## ビズレポート プラス

2月号

February  
2020年

2019年に改元があり「令和」に変わりました。改元は国難を開き直るために行われることが少なくありません。20年には東京でオリンピックが開催され、日本の新しい時代が幕を開けると、期待されています。しかしその一方で、解決しなければならない問題は山積しています。

中でも平成に起きた国難が人口減少と高齢化すなわち「少子高齢化」です。平成元年に合計特殊出生率は「1.57」を記録し、1.57ショックと呼ばれました。ですが平成時代にはこの事態の対応に、政府も民間も本腰を入れることなく傍観してきたため、ここにきて、マクロでは地方消滅、空き家問題、年金制度危機が叫ばれています。

コンビニの24時間営業が人手不足でできないという事態が起き、高齢者による交通事故も頻発しています。このまま、少子高齢化が進むと、今の社会システムは持たなくなるといわれています。

ベストセラー『未来の年表 人口減少日本でこれから起きること』（河合雅司）で未来を見れば、2025年には、団塊の世代の全てが75歳（後期高齢者）になり、社会保障費が大きく膨らみます。これを2025年問題と言います。

2033年には3戸に1戸が空き家になります。

さらに2042年には団塊ジュニア世代が高齢者になり、高齢者人口が4000万人になります。しかもこの世代にはパラサイト、ニートと呼ばれた人がいて、低年金層が出てきます。一方少子化で支える側はよ

### 日本の未来を読む 人口減少、高齢化、資本主義のゆくえ

株式会社みらいふ  
ファイナンシャルプランナー 梅田 道明  
〒615-0885  
京都市右京区西京極午塚町30  
Tel : 075-863-0808 Fax : 075-863-0809  
E-mail : news@k-milife.co.jp  
URL : http://www.k-milife.co.jp

り少なくなります。これをどう解決するのか。何も議論されていないのが現実です。しかし、このまま放置していくと、いつかは他人事ではなく、自分のこととして、跳ね返ってくることになります。これらは介護、医療、年金、老後の問題に直結してくるのです。

人口問題は今日明日の変化では見えない。しかし10年もするととんでもないことになっているという「静かな有事」です。これにどう対応していくかが、未来の課題となるでしょう。

日本の未来を俯瞰するとともに、現状の対策として、河合氏がいうイタリアの地方都市のような少量生産・少量販売による拠点国家化の話、知日派のアナリストでもあるデービッド・アトキンソン氏による経済の生産性の向上策を紹介します。今後、ますます現実味を帯びて問題視されてくるテーマです。

#### その他の企画テーマ

- ① 人と街と文化：世田谷線でめぐる歴史散策（東京都世田谷区）
- ② 名言：長友佑都（プロサッカー選手）
- ③ 気になるデータ：オリンピックの記録 女子陸上 人見絹枝と有森裕子の縁

今回の記事でお伝えしきれなかった豆知識。ぜひ小冊子（A4判8枚）にてご確認ください。

いますぐ  
ご返信下さい

さらに詳しい内容を無料情報誌（A4版8P）としてメールにてお届けします

下記申込みフォームにてご記入しFAXにてご送信いただくか、下記アドレスよりビジネスレポート申込みと記入の上ご送信ください。

e-mail : news@k-milife.co.jp

FAX : 075-863-0809

|         |     |      |
|---------|-----|------|
| 会社名：    | 部署： | お名前： |
| 住所：     |     | Tel： |
| E-mail： |     | Fax： |

\* ご登録いただいた個人情報は、弊社サービスの提供・案内及び今後役に立つため使用しその目的以外に使用することはありません。